

新聞



もりのめ

第6号

2026/3/23 発行

網走南部  
森林管理署



10月28日(火)、30日(木)の2日間、小清水町認定こども園「にじいろ」にて、出張森林教室を開催しました！

今回のテーマは、身近で親しみのある「どんぐり」。どんぐりのことを学びながら森を知り、森に親しむことを目的に実施しました。

どんぐりは、カシやナラなどの木のタネで、芽を出して木に成長します。また、虫や動物たちの大切な食べ物にもなっており、森の生態系を支える貴重な役割を担っています。

森林教室に先立ち、子供達は絵本を通して、どんぐりが虫や動物たちの食べ物になることを学びました。当日は、芽が出たどんぐりを観察し、どんぐりが木のタネであることやどのように成長していく



どんぐりクイズ

どんぐりの芽と根はどこから生える？



※答えは4コママンガにあるよ

のか知ってもらいました。なかなか目にする機会のない芽が出たどんぐりに、子供たちは興味津々！

その後は、森でどんぐり探しをしました。今年は実りが悪く、簡単には見つかりませんが、宝探し気分楽しく散策できました。

園に戻ってからは、どんぐりを水に浮かべる実験をしました。虫に身を食われたらどんぐりは浮き、食べられていないどんぐりは沈むことがわかりました。

どんぐりが木になることも、虫や動物の食べ物になることも、森の生態系を支える貴重な役割です。今回の森林教室を通して、森を身近に感じ、森に親しむきっかけになってくれていたら嬉しく思います。

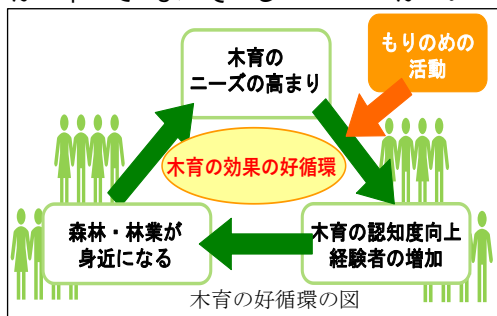
祝★奨励賞  
もりのめ2年間の成果

2月17日(火)、18日(水)に札幌市で北の国・森林づくり技術交流発表会が行われました。この発表会は、北海道の森林・林業・木材産業の活性化のため、関係機関の情報や技術の交流の場として例年開催されています。網走南部森林管理署からは森林保全・ふれあい部門でもりのめが2年間の活動の成果を発表しました。

もりのめは皆様の「森への興味・関心の芽」を育むべく①「遊び」と「学び」の両立と、②幅広い世代を対象とした活動の展開の二つを活動の軸に掲げ、2年間木育に取り組んできました。

その結果、当署の存在を認知

してもらい  
依頼件数が  
R6年2件  
↓R7年5  
件と増加し  
ました。そ  
のことによ  
り、地域で  
木育のニー  
ズが明らか  
になったほ  
か、図のよう  
な木育の  
効果の好循環  
が現れ始め  
たと  
いうことも  
見えてきま  
した。



今回の発表で奨励賞をいただくことができました。数々のイベントの実施に伴い、ご参加・ご協力頂いたすべての皆様に、感謝申し上げます。

今後も、「森への興味・関心の芽」を育むことができるような、イベントを企画できるよう、もりのめ一同努めてまいります。どうぞ、お楽しみに！

第6話 クイズの答え

4コママンガ

もりのめが木育へ参入して